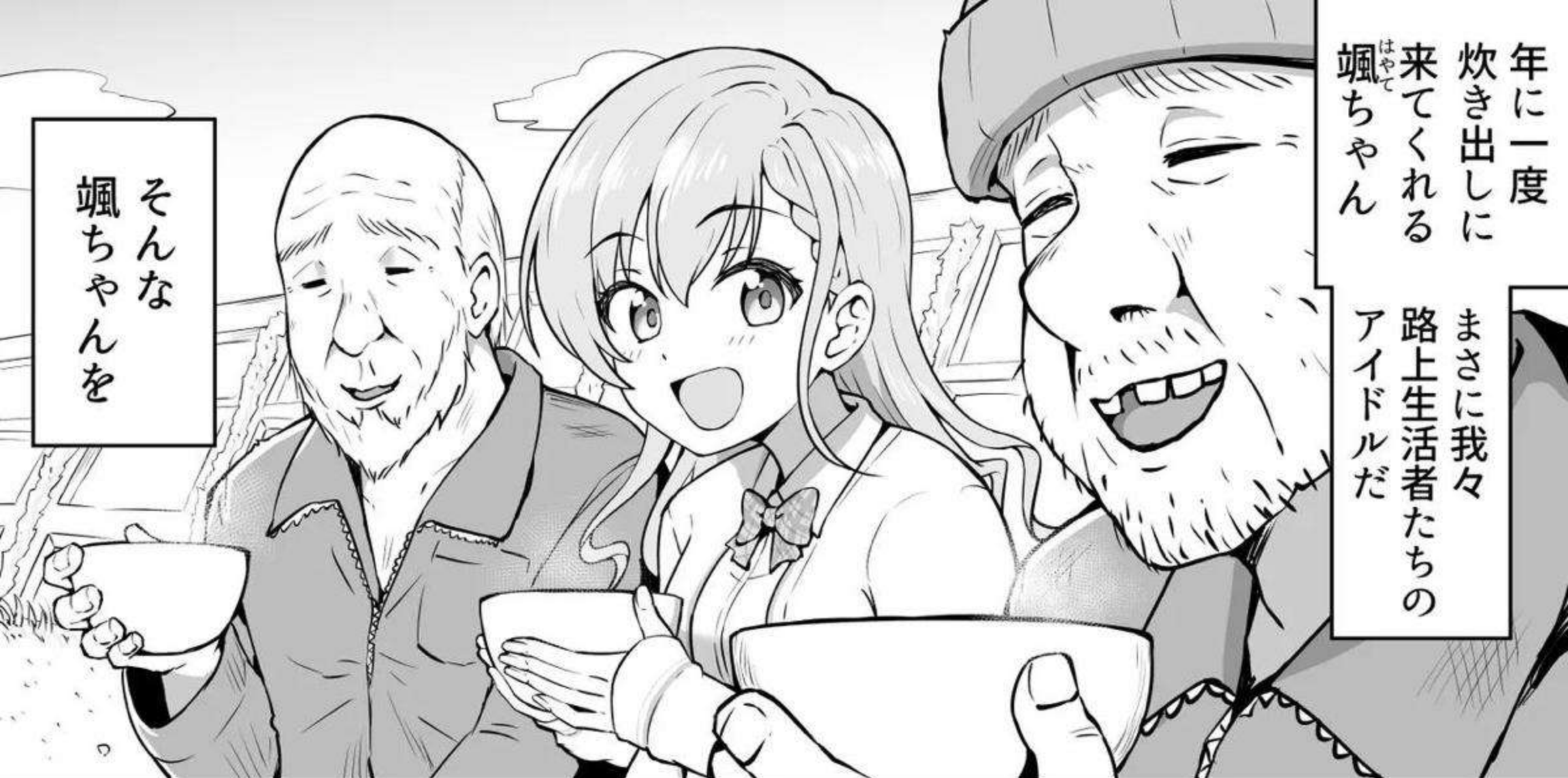


年に一度
炊き出しに
来てくれる
はやく
颯ちゃん

まさに我々
路上生活者たちの
アイドルだ

そんな
颯ちゃんを



今日は
なんと

手籠めに
しちゃいます

やった！

やった！



この年頃特有の
ハリのある乳房が

我々の情欲を
煽り立てる



狭い膣内を
汚れた陰茎で
掻き回すたび

颯ちゃん
は嬌声をあげ

あゝ
いんちき

甘い香りが
テントに充滿する…

あゝ

「孫がいれば
同じ年頃だろうか…」

そんな話をしながら
我々は

かわるがわる
膣内射精を
繰り返した

ズカッ
ズカッ

ズカッ
ズカッ

果たして
どちらの子を
孕んだだろう…

次の
炊き出しの日が
楽しみだ

いんちき

いんちき